



わしらの中のよそもん、 よそもんの中のわしら

Seeing them in us, Seeing us in them

東広島で外国人労働者との共生を 考える2泊3日のワークショップ

Workshop for living with immigrant workers in our community, Higashi-Hiroshima

2024年 1月

6日(土), 7日(日), 8日(月・祝)

■集合～解散時間:6日8:30～8日15:00

■集合・解散場所:山陽本線八本松駅
(自家用車の利用を希望される方は、お問い合わせください。)

■宿泊施設:TECS木鶏の杜研修センター
▶▶ <https://j-tecs.jp/facilities/>

■主なイベント内容:

- ・技能実習生の研修体験
- ・働く場や暮らす場の訪問
- ・地域の人のお話を聞く など

■お申し込み:裏面から



講師:アダム・セリグマン
(Adam Seligman) 教授
CEDAR代表。
ボストン大学教授(宗教学・社会学)

主 催:広島大学D&I推進機構ダイバーシティ研究センター
広島大学異文化間教育推進室

協 力:TECS(技術者育成協力会)・こすもすハウス
馬宿自治協議会

◇本プロジェクトは科学研究費助成(23K02391)などを受けています◇

＼CEDAR（シダー）とは？／

他者と共生するスキルを身につける教育プログラムを実施するアメリカの団体です。ボスニア・ヘルツェゴビナ、イスラエル、アメリカ、トルコ、イギリス、ブルガリア、インドネシア、ウガンダ、キルギスタンなど各地でワークショップを実施してきました。テーマは、宗教とナショナリズムと原理主義、所属と差異と研究手法、他者と隣人、共同体と国家、身体文化、植民地支配の歴史を振り返る、などで、50カ国から500名ほどの宗教指導者、活動家、教育者などが参加しています。



CEDARは「Communities Engaging with Difference and Religion」の略で、「違いと宗教にかかわらず共同体」を意味します。多くの共生プログラムが「私たちはみな同じ人間」という同質性を強調するのにたいし、CEDARでは「私たちはそれぞれ異なる価値観をもち、異なる共同体に帰属する」という異質性をベースにします。異なる人と生きるために、みずからの価値観や帰属を捨てる必要はないし、相手にそれを求める必要もありません。ともにになにかをおこなうなかで、自他の境目に気づき、境目を調整し、更新できるようになればいいのです。CEDARはそれを学ぶ機会を提供します。

＼CEDAR × 広島（志和）／



◀ CEDAR
<https://www.cedar-network.org/>

広島大学▶
ダイバーシティ
研究センター
https://www.diversity.hiroshima-u.ac.jp/kyosei/cedar_hi-roshima.html



東広島市の志和町は、田園風景が広がるのどかな地域です。農業に力を入れているほか、工場もあって、外国出身の住民を見かけることも少しずつ増えています。そんななか、2020年に、ベトナム出身の技能実習生が嬰兒を遺棄する事件が起きました。同様の事件は他の地域でも起きています。どうしてそのような事件が繰り返されてしまうのでしょうか。二度と起きないようにするために私たちになにができるでしょうか。ファシリテータのアダム・セリグマン先生は宗教社会学を専門とし、共生のワークショップCEDARを世界各地で実施してきました。セリグマン先生といっしょに、異なる人と異なるままに、ともに生きるスキルを学びませんか。

＼お申し込みはこちら／

定員： 15名
締切： 2023年12月15日（金）
申し込み方法： 右のQRコードにアクセスのうえ、志望動機（400字程度）を添えてお申し込みください。万が一申し込み者多数の場合はお断りすることがございますが、ご了承ください。
参加費： 一般10,000円・学生5,000円
▶▶ 以下の費用が含まれております。
・宿泊費（2泊分）
・食費（7食分）
・移動費

お問い合わせ： 広島大学D&I推進機構ダイバーシティ研究センター事務
✉ diversity-center@hiroshima-u.ac.jp
☎ 082-424-7952

